

# 雨水貯留管の整備について

戸田市水安全部下水道施設課

## 整備目的・背景

本市では、平成 17 年 9 月 4 日に 1 時間雨量 71.5mm（既往最大降雨）の豪雨により、床上浸水 89 戸、床下浸水 114 戸と浸水被害が発生しました。また、市の中心拠点である戸田駅や防災関連施設である消防本部を有するとともに、緊急輸送道路を担う道路が冠水したことにより、社会経済被害が発生しました。

上記道路を有する新曽地区において、雨水整備目標は 55.5mm/h ですが、現時点における河川の整備水準が 30mm/h 相当となっており、下水道施設からの河川へ放流できる量に制限を受けています。河川の整備には長期間を要することから、下水道事業計画において、貯留管の整備は不可欠な状況です。

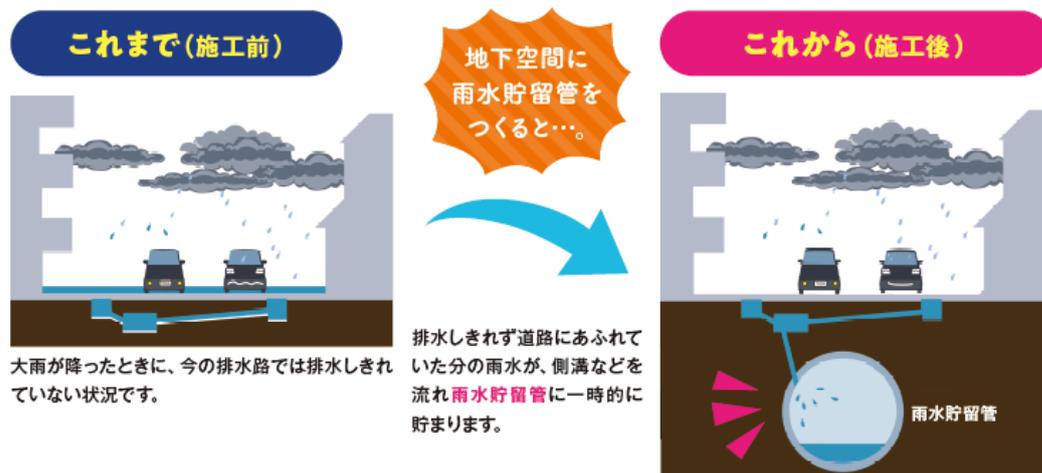
なお、施工については、シールド工という高度な施工に対する監理・監督を必要とするため、下水道事業に対し経験豊富な職員が在籍し、設計・工事・維持管理の全てに精通している地方共同法人日本下水道事業団と委託協定を締結しています。

（過去の浸水被害状況）



## 工事概要

戸田駅西口～山宮橋手前までの北大通り地下に整備  
雨水貯留管（貯留量約 26,000m<sup>3</sup>、内径φ6.0m、延長約 920m）、ポンプ施設等

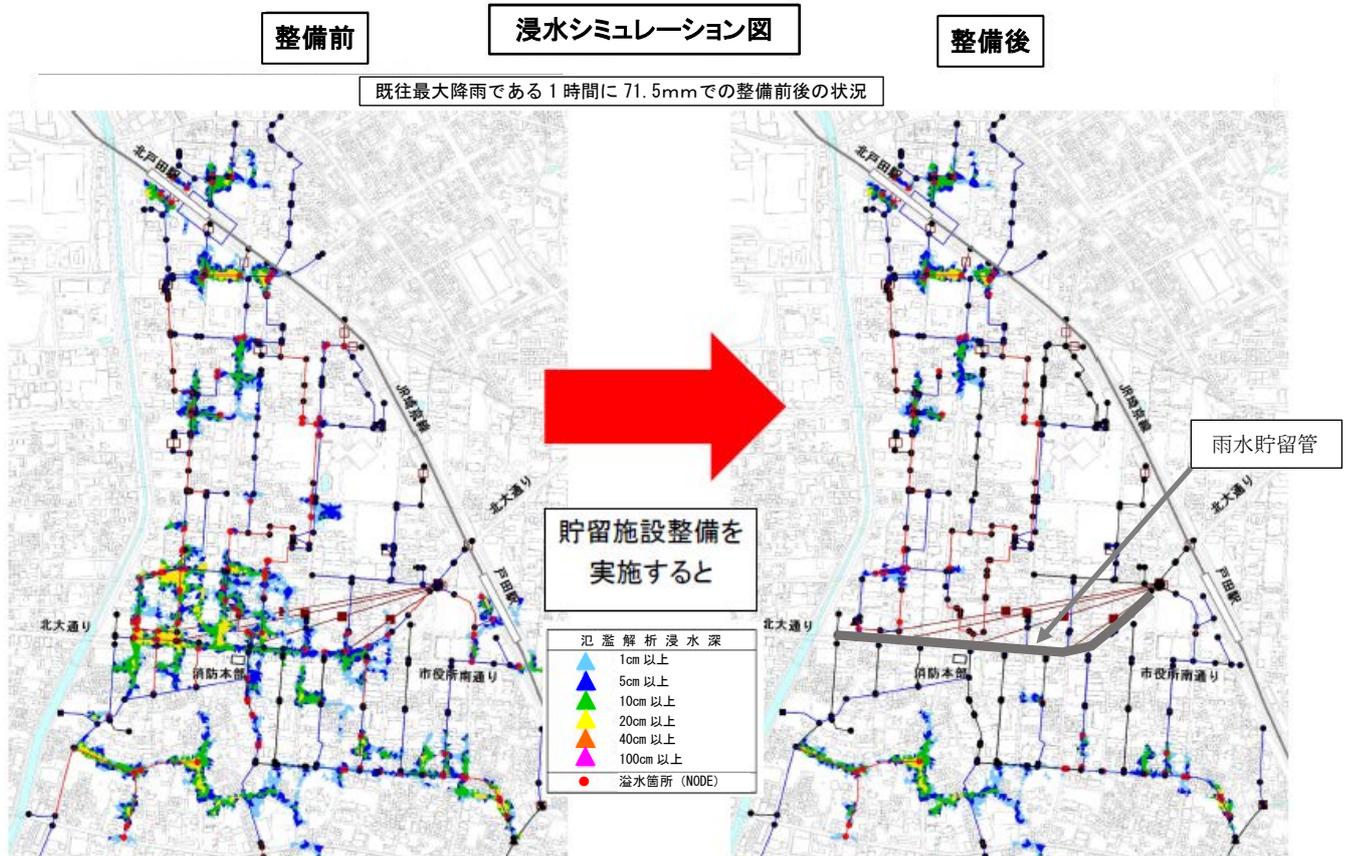


**総事業費**

約 74 億円（令和 2 年度から令和 6 年度までの事業に係る全ての費用）

**整備効果**

雨水貯留管の整備により、浸水シミュレーション図のとおり浸水被害が軽減されます。



**整備期間**

令和 3 年度から令和 6 年度（令和 7 年 3 月 31 日完成予定）

スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事の準備／シールドマシンの製作		—	—	
発進立坑の設置		—	—	
シールド工事			—	—
到達立坑の設置			—	—
付帯施設の整備				—

- 工 事 準 備 等：シールドマシンの製作やシールド工事の発進基地となる防音ハウスを設置
- 発進立坑の設置：シールドマシンが発進するための発進立坑を戸田駅西口付近の北大通り地下に設置
- シールド工事：出来上がったシールドマシンで発進立坑から到達立坑まで約920m掘進
- 到達立坑の設置：シールドマシンが到達する笹目川沿いの公園予定地地下に到達立坑を設置
- 付帯設備の整備：既設水路から雨水貯留管へ貯留するための分水施設、雨水貯留管内の雨水を排水するためのポンプ施設や発進・到達立坑を管理用施設として整備